

障害者の権利

132
1994-7

【特集】

障害者と家族

- 01 国際家族年について考える ■ 芹沢茂登子
- 03 障害を持った息子と共に ■ 岩崎由美子
- 07 しゅうとたちとの日々 ■ 広沢里枝子
- 11 目の見えないパパとママ ■ 清水パル、ベリー

●ルポ●

- 16 第7回国際モビリティ会議に出席して
坂本洋一

●talk to talk●

- 21 育てよう障害者自身の手で！
堀利和／八代英太

- 34 障害者の機会均等化に関する基準規則案
長瀬修 訳

●ボランティア最前線●

- 38 きょうも頑張と——視覚情報保障の会——
小倉かほる

- 47 平成6年度大学合格者・進学者一覧

- 49 平成6年度大卒者の就職状況一覧

- 50 韓国盲教育事情
大山弘

- 51 インフォメーション・コーナー

- 56 「視覚障害」の内容の充実に伴う講読料の改訂についてお願い

ISSN 0385-7476

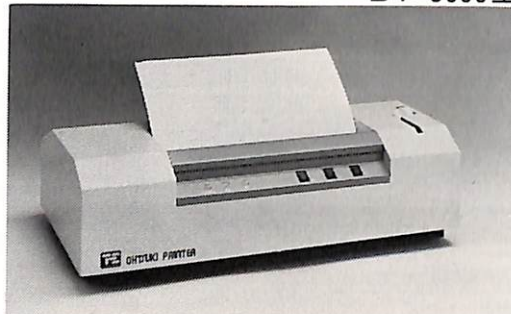
SSK



点訳のパートナー

オーツキプリンターは情報化時代に適応した点字プリンターとして幅広くご利用いただけます。

★点字と活字が同時にプリントされます。
BT-5000型



価格88万円

●特長

1. 点字と活字を同時に印字又は点字のみを打出す事ができます。
2. 用紙は単票又は連続用紙が可能、インクローラの取り付けも簡単です。
3. 自動紙幅検出、自動改行ができます。
4. 日、米、英、独、仏の5ヶ国語がプログラムされています。
5. 点字グラフィックを打出す事ができます。
6. 本機はシリアル及びパラレルインタフェースを兼備しております。

NEW

★ユーザーニーズに応え低価格を実現!!
BT-3000型



価格48万円

●特長

1. 両面印刷機能をサポートしています。
2. ペーパー先端検知機能により用紙のセットが簡単です。
3. 連続用紙の使用で1セット1,000枚のプリントが可能です。
4. 点字サイズは日本標準サイズです。
5. 小型軽量のため場所を取らず扱いも簡単です。

プリンター対応ソフト

AOK点字ワープロ、ブレイルスターII、
エクストラ、ガッテンダ、BASE/TDC
他

※当社では、ユーザーの皆様が安心してお使いいただけるよう、確実と信頼を実証しております。

TE
TECHNOL EIGHT

テクノエイト株式会社 総合企画研究所

〒192 東京都八王子市片倉町358番地
TEL 0426 (37)0592 FAX 0426 (37)0593

竹下弁護士独立

点字による司法試験で最初の合格者である竹下義樹さん、弁護士生活は10年になります。今年“竹下法律事務所”を開設し新たなスタートを切りました。事務所の所在地は京都市中京区竹屋町通麩屋町角。



5月14日、京都市内のホテルで開かれた開設祝賀パーティーには、弁護士、福祉・障害団体関係者、友人など260余名が集まりました。

塩谷靖子さんカザルスホールで熱唱



塩谷靖子さん（50歳、全盲）は今年3月、全日本演奏家協会主催の第4回全日本ソリスト・コンテストで審査員賞を受賞しました。6月12日、東京・お茶の水のカザルス・ホールで入賞者披露演奏会が開かれ、ブラームス、フォーレ、トスティなど5曲の歌声が披露されました。塩谷さんが本格的に声学を始めたのは7年前とか。

当日の様子は、6月13日のNHKニュース7でも紹介されています。ご覧になった方も多いのでは……。

おもちゃショーで「小さな凸」の提案



6月2日から4日間にわたって幕張メッセで開かれた今年のおもちゃショーで小さな凸のおもちゃたちが勢揃い。音をさわるおもちゃ、言葉をさわるおもちゃ、形をさわるおもちゃ、いっしょにあそぶおもちゃなどが27社の協力メーカーから出展されました。

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

No.132をお届けします。今回から「ボランティア最前線」をスタートさせました。その1回目が「視覚情報保障の会」です。これを書く前に「点字毎日」5月15日号を読んでいて「あれえ、また訂正記事が出ている」と思いながら改めて読み返しました。いわく、「……4月から紙面刷新に合わせて編集方式を大きく変えています。それに伴ない編集上のミスがあり……」です。点毎がこのような前置きを書くとは……と思っていましたら、何と「視覚障害、お前もだよ」と言わんばかりに筆者から文字を訂正してほしいという電話が入りました。5月号の新連載予告で「保障」が「補償」になっているということです。筆者並びに関係者に対し深くお詫び致します。私は漢字知識がないため代筆をしてもらう時いちばん問い直される言葉に、「どちらのホショウです？」ということで頭を抱えているだけに、ミスが痛いほど身にしました。昨年「視覚障害者とボランティア」という研修会を名古屋で開きました。また最近ラジオで「ボランティアと福祉とを混同している面がある……」と話しているのを聴きました。この連載を通してボランティアという言葉と実体を考えていければと願っております。 (高橋 実)

視 覚 障 害 1994年7月 No.132
年間講読料 3,300円 (送料とも)
発行日 1994年7月1日
編集人 立花 明彦
(連絡先) 日 本 盲 人 福 祉 研 究 会
〒166 東京都杉並区成田東5丁目36番15号
電話 (03) 3220-1421
振替口座 東京 6-16103
発行人 身体障害者団体定期刊行物協会
〒157 東京都世田谷区砧6-26-21
印刷所 合同印刷株式会社
〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 03(3624)6111 (代表)